

1-4 医療・ヘルスケアPJ

■ 取組みの目標

- ・本市における医師不足、特に、若手医師や病院勤務医をはじめ、産科医や小児科医等の確保に向け、医療提供体制の確保等、様々な取組みを進めます。
- ・本市では、生活習慣が主な要因とされる標準化死亡比が高いことなどが課題となっていることから、様々な主体と連携・協力し、市民の健康増進を図ります。
- ・先端医療・技術、データ活用等新たな分野に取り組む機関との共創により、医療を軸としたまちの魅力向上やヘルスケア産業の拡大を目指します。

■ 事業主体

市、市医療センター、市医師会、市内医療機関、地域づくり団体、市内企業等

■ 構成する施策

① 医療人財確保に向けた取組み

大学医学部への情報宣伝活動を幅広く行うとともに、医大生を対象とした地域医療セミナーを開催するほか、大学医学部への寄附講座の開設、市内医療機関において実施している修学資金貸与制度を継続的に実施します。

② 医療提供体制の整備に対する支援

適切な医療提供体制の整備に向け、市内において診療体制が不足している産科医、小児科医等の新規開設・再開に対する支援を充実します。

③ 先端医療等の活用による地域医療の活性化

先端医療や先端技術、データ活用等新たな分野に取り組む機関と地域企業や医療機関等の共創によりリーディングケースを創出し、医療を軸としたまちの魅力向上につなげます。

④ 市民の健康増進

地域団体等との共創による健康づくり・介護予防の取組みのほか、スポーツやIoT等の活用、ビッグデータの分析・応用等を通じて、市民の健康増進、健康寿命の延伸を図ります。

⑤ ヘルスケア産業の拡大

スポーツやIoT、データビジネス等に加え、温泉などの地域資源を有効に活用し、掛け合わせることで、ヘルスケア産業の拡大を目指します。

■ SDGs



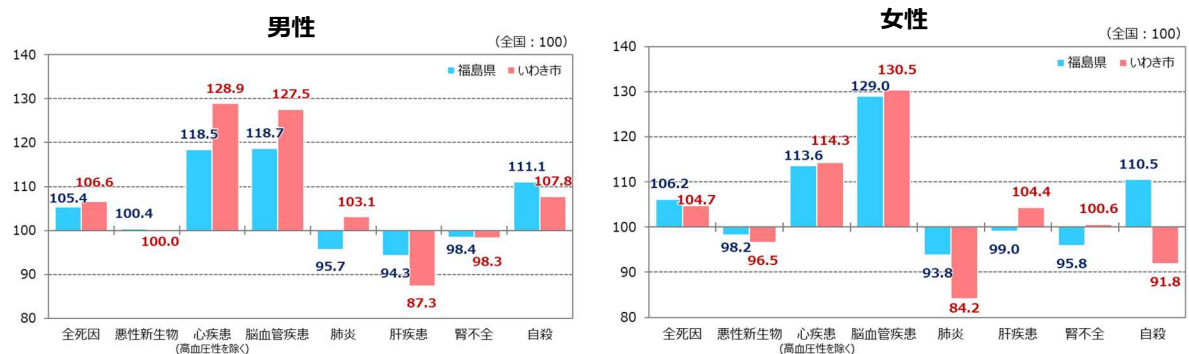
■ スケジュール

項 目	R3	R4	R5	R6	R7
医療人財確保に向けた取組み	寄附講座開設・修学資金貸与・情報宣伝活動				
医療提供体制の整備に対する支援	診療所開設支援				
先端医療等の活用による地域医療の活性化	検討・実施				
市民の健康増進	地域団体・企業等との共創による健康づくり				
	スポーツ・IoT等の活用、ビッグデータの分析・応用				
ヘルスケア産業の拡大	モデル事業の検討・実施		実装		

K P I	現状値		目標値	
人口 10 万人あたり医療施設従事医師数	167.1 人 (2018 年)		204.9 人	
人口 10 万人あたり看護師数	846.6 人 (2018 年)		921.3 人	
標準化死亡比のうち心疾患による死亡比（全国値＝100）	121.6 (2013～2017 年)		100	
標準化死亡比のうち脳血管疾患による死亡比（全国値＝100）	129 (2013～2017 年)		100	

■ データ等

標準化死亡比（2013～2017 年）



（出典）2013～2017 年人口動態保健所・市町村別統計（人口動態統計特殊報告）